

安心して入学を迎えるために

Q & A

- ・心配なことはどこに相談すればいいの？
- ・入学に向けた手続きは何かありますか？
- ・小学校では、読み書きはどのように学びますか？
- ・今しておいた方が良いことはありますか？
- ・アレルギーや病気のことについて、相談できますか？
- ・学校が終わった後に、こどもたちが過ごせる場はありますか？
- ・入学後の生活について、もっと知りたい

【連絡先】

○○に関すること

○○に関すること

○○に関すること

連絡先

静岡市教育委員会
学校教育課

連絡先

静岡市こども未来局
幼児教育・保育支援課

(案) 静岡市幼保小接続ガイドライン ～「架け橋期カリキュラム」作成に向けて～

別紙2

学校教育課 幼児教育・保育支援課

遊びは学び！学びは遊び！育ちを共に見つめ語り合おう

幼保小接続の推進←

←

幼児期の遊びを通しての学びとは、子どもが自ら興味・関心をもち環境（人・もの・こと）に主体的に関わる中で、試行錯誤しながら資質・能力を育んでいく教育方法のことである。幼保小接続とは、この幼児期に育まれた資質・能力を小学校教育でさらに伸ばしていくように、子どもたちの発達や学びの連続性を保障するための取組のことを指す。←

あきどなかよし【生活】

○秋の自然物を他のものに見立てたり、その特徴を生かしたりして、実際に作りながらより楽しいおもちゃにするにはどうしたらよいか考える。【思考力・判断力・表現力等】

作成イメージ（案）

写真

- 手や指を使って描く気持ちを味わう。【主体的に学習に取り組む態度】
- 手や指を使った描き方の工夫をする。【知識及び技能】
- どうどろぼうの具でかきたいことやものを考える。【思考力・判断力・表現力等】

写真

写真

作成イメージ（案）

幼児期【学びの芽生え】

写真

【学びの芽生え】

たくさん
の
絵本
で
遊んで
いる
よ
う
に
思
っ
た
人
も
生
か
し
た
い
で
す
教
諭

こどもの学びをつなげる職員間の連携

合同研修・幼保小の垣根を超えた対話

写真

小学校【自覚的な学び】

写真

【自覚的な学び】

ひたすら

保育者は、

保育者の援助
※歳児ごとまたは乳児・幼児で分けて記載

0歳児から5歳児の発達の特徴

0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
安心・信頼 「心地いいな」	「あれなあに?」「これなあに?」「いやいや!」	「どうして?」「自分でやりたい!」「聞いて、聞いて」「自分でできた!」	「面白そう」「やってみよう」「楽しいな」「これがしたい!」	「あの子と一緒にいたいな」「嬉しいな」「悲しいな」「けんかしちゃった」「みんなと一緒に楽しいな」	「どうなるかな?」「試してみよう」「挑戦してみよう」「こうしてみない?」「いいよ」
写真	写真	写真	写真	写真	写真

0歳～1歳の頃
視覚、聴覚などの感覚や座る、はう、歩くなどの運動機能が発達します。特定の人との応答的な関わりを通して情緒的な絆が形成されます。

1歳～2歳の頃
周囲の人や物への興味や関心が高まり、自分から手を伸ばして触ろうとしたり自分の意思を親しい大人に伝えたいという欲求が高まつたりします。自我が芽生え、1歳半ば頃から自己主張が強くなります。

2歳～3歳の頃
言葉も増え、おしゃべりを楽しんだり、大人の真似をしたり同じ動きを楽しんだりするようになります。「自分でやりたい!」と様々なことに挑戦するようになります。

3歳～4歳の頃
言葉も増え、おしゃべりを楽しんだり、「やってみたい」「面白そう」など、気持ちを表現しながら、自分が興味や関心をもった遊びを楽しめます。

4歳～5歳の頃
自己主張し、友達との間で身体で体験することが増えるようになります。自分と友達の気持ちが違うことに気付いたり、自分の気持ちの伝え方を知ったりしていきます。

5歳～6歳の頃
友達との関わりが深まり、自分の考えや気持ちを言葉で伝え合うようになります。友達と役割を分担したり力を合わせたりしながら遊びや生活をつくり上げていくようになります。

歳児の育ちの特徴的な表れ
マイナスと捉われがちだが、成長の過程として必要な現れ
(イヤイヤ期や自我の芽生え、考えの違いに気づく等)

家庭では、

この時期に保護者に、大切にしてほしい関わりのヒント

児童期

入学当初の1年生の学校生活

【安心づくり】安心して学校生活を送ることができるようとする

【学級づくり】生活や学習の基盤となる学級集団をつくる

【授業づくり】学習に意欲や自信をもって主体的に取り組むことができるようとする

写真

写真

いわゆる「スクール型」の教室内机配置を当たり前とせず、園での経験から、活動しやすい空間を保障することを優先します。交流も自然に発生していき、友達から学ぶことが成立します。

1 空間・環境の工夫

の両隣に、1年活動室（くわくルーム）、生活科（なかよしルーム）があります。フロアマットやたたスペースがあり、1年先で使用できるようになります。

文字を読むことは十分できていない時期でもあります。写真やイラストによる掲示などで、見える化を進めます。同時に文字への抵抗感も少なくさせて供していきます

取組2 全学年が4月中に1年生と関わる環境の工夫

4月中に全学年が1年生と関わる機会を意図的に設定します。様々な学年の多くの児童と直接関わる機会をつくることにより、1年生が、安心して学校生活が送れる環境を整えます。

学年	期日・期間	内
6年生	～入学式	入学式準備・入学式参加
	入学式～第4週	登校後の朝の支度・自由遊び (関わりのスタンスは見守り) 給食の片付け補助(牛乳パック開き補助)
2年生	4月第1週～第2週	「ひらがな」を学ぼう。学校探検のお手伝い
5年生	4月～1年間	掃除の仕方を知ろう 2名ずつ掃除分担1年間
4年生	4月第1週～第3週 5月中旬～下旬	安全な遊具の使い方をしよう あさがおの植え付けをしよう
3年生	4月第2週～第3週	「校歌」「学校坂道」を覚えよう
全学年	4月第3週	「わくわく入学式」(1年生を迎える会)

第1週

【キーワード】

安心

関わり

令和7年4月8日(火)～4月11日(金)

(留意事項 他)

6年生ペア 学級・2年生 スマイルティーチャー	9日(水) 集団下校 10日(木) 発育測定 11日(金) 学級写真 給食開始 給食当番補助(養護教諭・調理員等)
7(月)	8(火)
朝 (モジュール)	8:15 なかよしタイム (なかよしR) ・健康観察 ・本となかよし 30分
1	☆入学式(行) 45分 8:00 9:25
2	登校後～朝活動スタートまで (ペアの6年と一緒に) (スマイルティーチャーと一緒に) ①荷物の片づけ ②体操服に着替える。 ③自由遊び (運動場・教室・なかよしルーム)
3	☆学活(1/3) ・遊びとあいさつ・トイレ ☆学活(1/3) ・ペア紹介(6年生)
4	わくわくタイム ○生活2 学校となかよし (使い方指導) ・廊下/トイレ ・靴箱/建立
下校	保護者と下校 12:00 13:30 13:30
備考	入学式準備 (新5・6年生) 入学式 新任式/始業式 特別日課4 集団下校 普通日課4 発育測定・お弁当の日 色別集団下校開始
今週 なかよしタイム (朝) 8:15～8:45 (30分間)	レク・リスト ・手遊び歌 ・あおむしの手遊び ・キャベツの中から ・はじまるよ
時間	活動内容
8:15～8:25	室内 レクリエーション
8:25～8:35	健康観察 ・呼名→返事 ・体調チェック ・おきかへへ
8:35	歌・リスト なかよし 1・6年生一入学式
参考動画 NHK すたあと で～きた	本・リスト ・1ねんせいになったら ・いろいろおんせん ・給食番長 ・ちびまる子ちゃんの あんせん えほん
時数	なかよし (1.7)
国語	1.0
算数	1.3
生活	1.3
音楽	

生涯の学びの基盤を「つなぐ」架け橋期のカリキュラム

スタートカリキュラムは、「小学校への適応指導である」という考え方から、「子どもの育ちや学びを引き出す」という発想の転換が必要です。架け橋カリキュラムを作る過程で、スタートカリキュラムの充実を図っていきましょう。



「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

子どもたちの姿から捉えよう！

「幼児期の終わりまでに育っていく過程で見られる、一人の子どもの姿から、見てきているかを見出し、際の手がかりになります。」

作成イメージ（案）

めに

どこまで進んでいますか。
協働を進めましょう。

幼児期の終わりまでに
育ってほしい姿

- これらの姿は、到達目標ではなく、向かっていく方向性を示しています。
- ひとつの項目を取り出して指導、評価するものではありません。

作成イメージ（案）

姿です。

写真

写真

写真

幼稚園・保育所では、教員や保育者が指導を行う際に「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮し、小学校では、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫をすることが円滑な接続に大切です。

【段階】

【幼稚園・保育所】

【小学校】

作成段階の表示

架け橋期の
カリキュラムの実施

幼稚園・保育所・小学校の教員・保育士の連携・
協働による架け橋期のカリキュラムの検討・開発、
実施、検証、改善

幼稚園・保育所・小学校の教員・保育士の連携・
協働による架け橋期のカリキュラムの検討・開発、
実施、検証、改善